

# 第133期 中間報告書

自 平成26年4月1日 → 至 平成26年9月30日



日本冶金工業株式会社  
(<http://www.nyk.co.jp/>)

証券コード 5480



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



日本冶金工業株式会社



代表取締役社長

木村 始

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第133期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、懸念された4月の消費税の引き上げによる影響も限定的なものにとどまり、各種景

気刺激策や円安局面の継続などにより企業収益や雇用環境の改善が見られ、緩やかな回復傾向が続きました。

ステンレス特殊鋼業界におきましては、本年1月のインドネシアにおけるニッケル鉱石禁輸の影響を受け、原料価格の上昇局面が続きましたが、ステンレス製品については堅調な内需を中心に安定的な販売が継続しました。一方で、新規の設備投資に関しては依然として慎重な姿勢が目立ち、厚板の需要はいま一つ盛り上がりを欠くなど、製品ごとの偏りも見られました。

このような経営環境の中、当社グループとしましては、戦略分野である高機能材の拡販に向け、国内外市場の実態調査等を通じて顧客のニーズを把握し、提案型営業につなげる取り組みを進めてまいりました。とりわけ、エネルギー・環境等の成長分野にターゲットを絞ったアプローチ

を強化し、現地法人の置かれた米・欧・亜（中国・アセアン）を拠点としたグローバル販売網を通じて販売拡大に取り組んでまいりました。

こうした営業力強化の効果もあり、当上半期の連結業績につきましては、前年同期を上回り、売上高は639億83百万円（前年同期比11.2%増）、経常利益は7億52百万円（前年同期比29.5%増）、当期純利益は6億25百万円（前年同期比25.2%増）となりました。

このような収益状況ではありますが、財務体質の改善には今しばらくの時間を要するとの観点により、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、中間配当につきましては実施を見送らせていただくことといたしました。

今後のわが国の経済動向につきましては、アベノミクス効果や復興需要および東京オリンピック・パラリンピック

開催にともなう特需の効果などを背景に、景気回復の流れが続くと期待されますが、当社を取り巻く環境には、電力コストの高止まり、インドネシアのニッケル鉱石禁輸によるニッケル原料への影響など、依然として不透明なものがあります。

こうした経営環境の中で当社グループでは『中期経営計画2014』に則り、国内外において競争力あるステンレス特殊鋼メーカーとして勝ち抜くことを目標に、原料調達から生産・販売まで多岐にわたる収益力強化策を実行し、財務基盤の強化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ今後とも絶大なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

目次

株主の皆様へ..... 1

事業概況..... 3

連結財務諸表..... 5

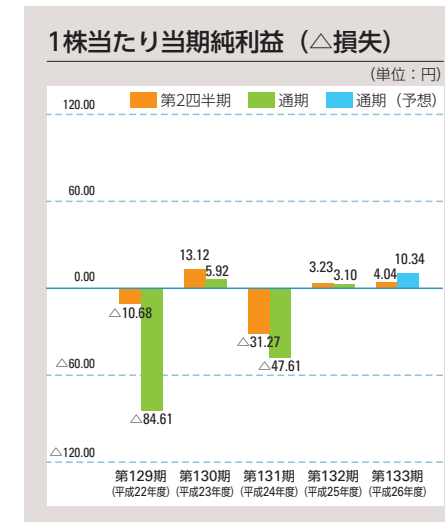
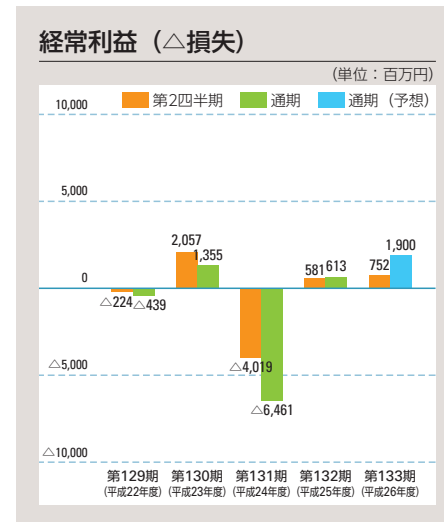
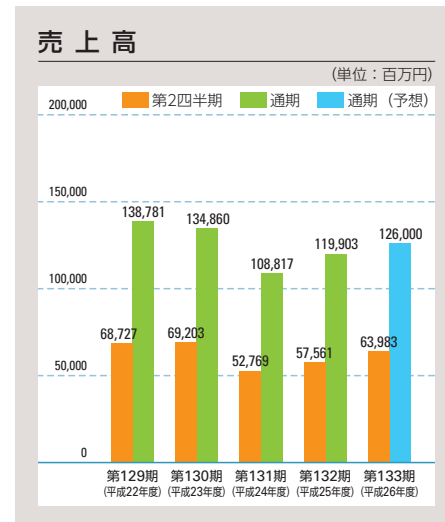
会社の概要..... 7

活動報告..... 8

製品紹介..... 9

株主メモ..... 10

連結財務ハイライト



【表記に関する注記】  
 ※ 本中間報告書における収益関連数値につきましては、期初からの「累計値」を用いています。したがって、「第2四半期」と表記されている数値は、当該期における第1四半期(4/1～6/30)と第2四半期(7/1～9/30)との合計値を意味します。

※ 本中間報告書における決算数値につきましては、原則としてそれぞれの数値の百万円未満を四捨五入した上で表記しております。したがって、例えばP3「■売上高(単体)」のグラフにつきまして、各期(各年度)の左側(ステンレス鋼板、高機能材、その他)の数値の合計と、右側(国内、輸出)の数値の合計は、本来同一のものですが、個別の数値を四捨五入して表記していることから、「合計」値に一部相違が生じる場合があります。また、各財務諸表上も、各科目を加算した値と「合計」値とが、必ずしも一致しない場合があります。

# 事業概況

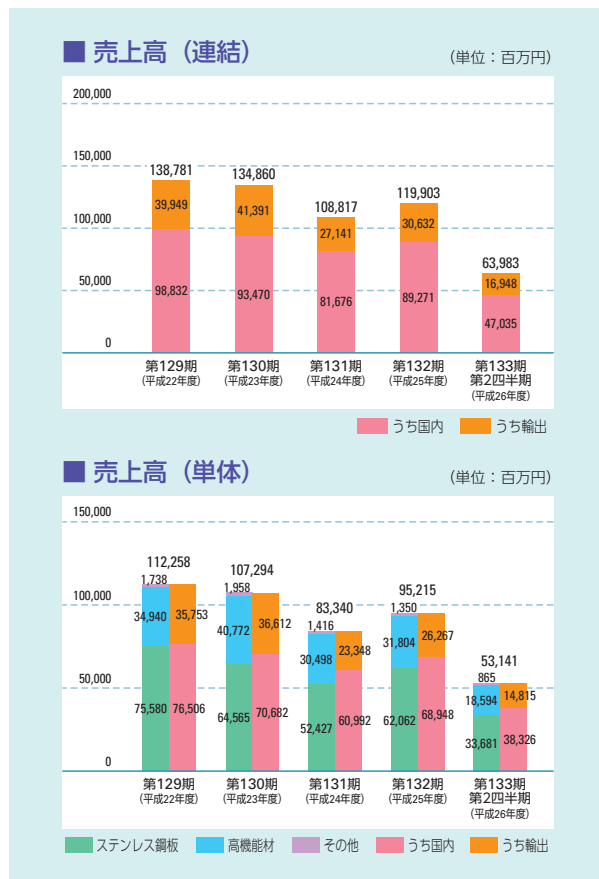
当社グループの戦略分野である高機能材につきましては、主要な輸出先である中国や韓国においてプロジェクト案件の延期・凍結が散見されるなど、両国の景気減速の影響を大きく受けながらも、環境分野での需要は根強い動きを見せており、前年同期を上回る販売量を確保することができました。

一方、一般材につきましては、海外マーケットでは他国メーカーの供給過剰もあり、消極的な受注活動に終始せざるを得ませんでした。国内マーケットでは内需に引っ張られる形で堅調に推移しました。

また、原料価格の高騰や電力料の高止まりを反映させた販売価格の是正にも努めました。

その結果、当第2四半期累計の連結売上高は前年同期比11.2%増の639億83百万円となりました。

このうち、国内売上高は470億35百万円、輸出売上高は169億48百万円となっております。(国内：輸出=73.5%：26.5%)



## 売上高内訳表 (単体)

区分		第132期第2四半期 (A)	第133期第2四半期 (B)	前年同期比 (B/A)
高機能材	販売量 千 t	19.8	21.7	109.7%
	売上高 百万円	16,148	18,594	115.1%
ステンレス鋼板	販売量 千 t	99.1	106.6	107.6%
	売上高 百万円	28,807	33,681	116.9%
その他	売上高 百万円	701	865	123.4%
合計	売上高 百万円	45,656	53,141	116.4%
うち輸出	売上高 百万円	14,371	14,815	103.1%

## 重要な子会社の状況

平成26年9月30日現在

会社名	資本金	議決権の所有割合	主要な事業内容
ナストーア株式会社	百万円 100	100.00 %	ステンレス鋼および高機能材の溶接鋼管の製造ならびに販売
ナス鋼帯株式会社	682	100.00	ステンレス磨帯鋼製造ならびに販売
ナス物産株式会社	560	98.21	ステンレス鋼、特殊鋼および加工品の販売ならびに加工
クリーンメタル株式会社	200	100.00	ステンレス鋼、特殊鋼および加工品の販売ならびに加工
ナスクリエート株式会社	90	100.00	ステンレス製品梱包用資材の販売および損害保険代理業
ナスエンジニアリング株式会社	102	100.00	設備設置工事、他エンジニアリング事業
ナステック株式会社	100	100.00	特殊鋼・ステンレス鋼の製造・加工に係わる作業受託業務
宮津海陸運輸株式会社	32	100.00	港湾運送、貨物自動車運送、通関業ならびに加工砂の販売
NAS TOA (THAILAND) CO.,LTD.	千バーツ 220,000	100.00	ステンレス鋼管および加工品の製造販売

(注) 議決権の所有割合には間接所有割合が含まれております。

## 単元株式数の変更

当社は、全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、平成26年4月1日をもって、単元株式数を500株から100株に変更いたしました。これに伴い、同日をもって、東京証券取引所における当社株式の売買単位数も100株に変更しました。

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

科 目	当第2四半期末 平成26年9月30日現在	前 期 末 平成26年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	61,128	57,645
現金及び預金	5,227	6,630
受取手形及び売掛金	20,796	20,661
有価証券	30	30
商品及び製品	8,694	7,290
仕掛品	17,568	15,577
原材料及び貯蔵品	8,508	7,013
繰延税金資産	264	264
その他	602	752
貸倒引当金	▲ 560	▲ 572
固定資産	80,970	79,725
有形固定資産	74,786	74,125
建物及び構築物	12,248	12,560
機械装置及び運搬具	20,680	20,473
土地	38,752	38,745
建設仮勘定	1,781	996
その他	1,324	1,351
無形固定資産	1,062	903
ソフトウェア	908	738
その他	154	165
投資その他の資産	5,122	4,698
投資有価証券	4,441	3,994
繰延税金資産	132	142
その他	576	593
貸倒引当金	▲ 28	▲ 31
資産合計	142,097	137,370

### POINT 流動資産

主として原料価格の高騰により、たな卸資産（「商品及び製品」「仕掛品」「原材料及び貯蔵品」の合計）が前期末比約49億円増加しております。

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 平成26年9月30日現在	前 期 末 平成26年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	69,984	69,228
支払手形及び買掛金	17,912	18,491
短期借入金	32,098	32,923
1年内返済予定の長期借入金	13,372	11,885
未払法人税等	206	175
未払消費税等	227	321
賞与引当金	634	627
その他	5,535	4,806
固定負債	39,897	37,144
長期借入金	19,562	17,026
繰延税金負債	9,031	8,823
再評価に係る繰延税金負債	1,029	1,029
退職給付に係る負債	8,872	8,820
環境対策引当金	10	10
その他	1,394	1,437
負債合計	109,882	106,372
(純資産の部)		
株主資本	29,328	28,575
資本金	24,301	24,301
資本剰余金	9,542	9,542
利益剰余金	▲ 4,382	▲ 5,135
自己株式	▲ 133	▲ 133
その他の包括利益累計額	2,848	2,387
その他有価証券評価差額金	1,130	695
繰延ヘッジ損益	▲ 4	▲ 0
土地再評価差額金	1,651	1,651
為替換算調整勘定	71	42
少数株主持分	40	36
純資産合計	32,216	30,998
負債純資産合計	142,097	137,370

(注記)

受取手形割引高	3,357	3,579
受取手形譲渡高	388	439

### POINT 純資産

当第2四半期末における自己資本比率は22.6%となりました。

## 四半期連結損益計算書

科 目	当第2四半期 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	前第2四半期 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日
売上高	63,983	57,561
売上原価	57,939	51,567
売上総利益	6,045	5,994
販売費及び一般管理費	4,808	4,841
営業利益	1,237	1,153
営業外収益	283	151
受取利息及び配当金	45	57
為替差益	120	-
その他	118	94
営業外費用	768	723
支払利息	554	555
その他	213	169
経常利益	752	581
特別利益	80	3
特別損失	9	12
税金等調整前四半期純利益	823	571
法人税等	194	70
少数株主損益調整前四半期純利益	629	502
少数株主利益	4	3
四半期純利益	625	499

(注記)

1株当たり四半期純利益	4.04	3.23
-------------	------	------

### POINT 売上高

ステンレス特殊鋼業界におきましては、インドネシアのニッケル鉱石輸出規制等を背景とするLMEニッケル相場の高騰、円安定着による原料価格の上昇、さらに電力をはじめとするエネルギーコストの上昇も加わり、厳しい事業環境となりました。当社グループにおきましては、戦略分野である高機能材の拡販に努め、生産コストに応じた販売価格の適正化に取り組みました。この結果、売上高は前年同期比約64億円の増加となりました。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当第2四半期 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	前第2四半期 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,937	▲ 1,514
税金等調整前四半期純利益	823	571
減価償却費	1,739	1,943
退職給付引当金の増減額 (▲は減少)	-	▲ 364
退職給付に係る負債の増減額 (▲は減少)	181	-
受取利息及び受取配当金	▲ 45	▲ 57
支払利息	554	555
売上債権の増減額	▲ 135	1,799
たな卸資産の増減額 (▲は増加)	▲ 4,890	▲ 2,187
仕入債務の増減額 (▲は減少)	▲ 579	▲ 3,258
その他	▲ 19	87
小計	▲ 2,372	▲ 910
利息及び配当金の受取額	45	57
利息の支払額	▲ 545	▲ 617
法人税等の支払額又は還付額 (▲は支払)	▲ 66	▲ 44
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,260	▲ 1,427
有形及び無形固定資産の取得による支出	▲ 1,546	▲ 1,433
その他	286	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,767	▲ 933
短期借入金による純増減額 (▲は減少)	▲ 868	▲ 674
長期借入れによる収入	9,074	6,090
長期借入金の返済による支出	▲ 5,050	▲ 5,730
その他	▲ 390	▲ 618
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	▲ 7
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	▲ 1,402	▲ 3,882
現金及び現金同等物の期首残高	6,579	10,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,177	6,194

取締役および監査役

平成26年9月30日現在

代表取締役社長	木村	始
代表取締役	諸岡	道雄
取締役	久保田	尚志
取締役	橋之口	真貴
取締役	大田	富貴
取締役	岡田	和彦
常勤監査役	山口	宗一
常勤監査役	櫛木	一男
監査役	稲垣	多津夫
監査役	前田	博美

(ご参考)  
取締役のうち、岡田和彦氏は社外取締役であります。また、監査役のうち、櫛木一男および稲垣多津夫の2氏は社外監査役であります。

執行役員

平成26年9月30日現在

執行役員社長	木村	始
専務執行役員	諸岡	道雄
常務執行役員	久保田	尚志
常務執行役員	橋之口	真貴
常務執行役員	大田	富貴
常務執行役員	長谷川	正晃
常務執行役員	堀内	喜二
執行役員	高橋	博喜
執行役員	池上	雄二
執行役員	野田	真人
執行役員	小林	靖彦
執行役員	木内	康裕
執行役員	佐々木	秀一
執行役員	王	昆

会計監査人

平成26年9月30日現在

八重洲監査法人

国内拠点

平成26年9月30日現在

本社	東京都中央区京橋一丁目5番8号 (三栄ビル) (☎104-8365) 電話 (03) 3272-1511
大阪支店	大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号 (興銀ビル) (☎541-0043) 電話 (06) 6222-5411
名古屋支店	名古屋市中区栄町二丁目3番6号 (NBF名古屋小路ビル) (☎460-0008) 電話 (052) 211-1102
九州支店	福岡市中央区天神一丁目15番6号 (綾杉ビル) (☎810-0001) 電話 (092) 722-4170
広島支店	広島市中区紙屋町二丁目1番22号 (広島興銀ビル) (☎730-0031) 電話 (082) 243-0039
新潟支店	新潟市中央区東大通一丁目2番25号 (北越第一ビル) (☎950-0087) 電話 (025) 247-9261
川崎製造所	川崎市川崎区小島町4番2号 (☎210-8558) 電話 (044) 271-3012
大江山製造所	京都府宮津市字須津413番地 (☎629-2251) 電話 (0772) 46-3121

海外現地法人

平成26年9月30日現在

NIPPON YAKIN AMERICA, INC. (シカゴ現地法人)	5600 N River Road Suite 800, Rosemont, Illinois 60018, U.S.A. TEL: +1 (847) 685-6644 FAX: +1 (847) 292-4404
日邦冶金商貿 (上海) 有限公司 (上海現地法人)	Rm.1018, Shanghai International Trade Centre, 2201 Yan An Road(W), Shanghai, China TEL: +86 (21) 5239-2670 FAX: +86 (21) 5239-2679
NIPPON YAKIN EUROPE LIMITED (ロンドン現地法人)	72 Hammersmith Road, London, W14 8TH, United Kingdom TEL: +44 (20) 7858-0948 FAX: +44 (870) 112-8983
NIPPON YAKIN ASIA PTE. LTD. (シンガポール現地法人)	10 Anson Road, #31-09 International Plaza, Singapore 079903 TEL: +65-6226-2376 FAX: +65-6226-3426

国内展示会への出展  
「第1回高機能金属展 (メタルジャパン)」 (2014年4月16~18日)  
「第1回関西高機能金属展 (メタル大阪)」 (2014年9月24~26日)

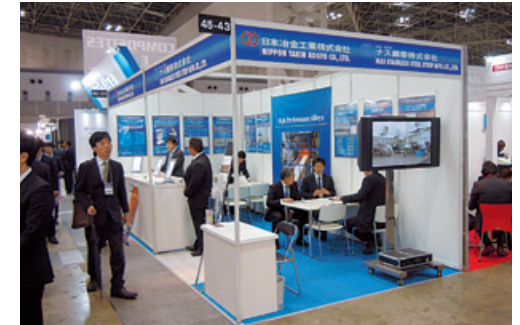
当社およびグループ会社のナス鋼帯(株)は、本年4月16~18日に東京ビッグサイトにおいて開催された展示会「第1回高機能金属展 (メタルジャパン)」に共同出展いたしました。この展示会は、耐熱・耐食・超硬・快削等の特性を持つ高機能合金のメーカーや、金属加工装置や検査・分析機器メーカーなどが出展する日本で初めての金属業界の展示会で、高機能フィルム展、高機能プラスチック展と同時に開催されました。

また、本年9月24~26日にインテックス大阪において開催された展示会「第1回関西高機能金属展 (メタル大阪)」にも、当社とナス鋼帯(株)とで共同出展いたしました。こちらの展示会も関西高機能フィルム展、関西高機能プラスチック展と同時に開催されました。

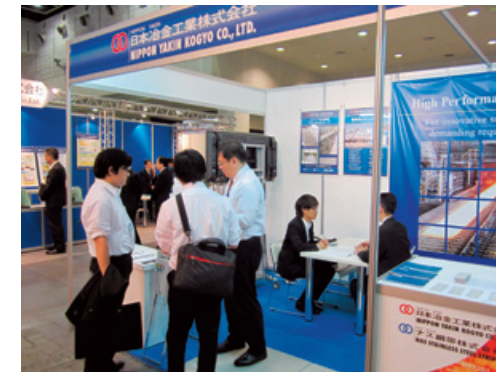
当社は今まで、海外における当社の認知度向上、高機能材や高付加価値材の拡販のための新規有望顧客へのPRと開拓、既存顧客との商談や交流などを目的として、2004年にアメリカで開催されたステンレス鋼やニッケル合金メーカーの展示会「Stainless Steel World America」に初参加して以来、アメリカ、ヨーロッパ、中国、ブラジル、マレーシアにおいて開催された展示会に出展を重ねてきました。今回の日本における出展は、国内における高機能材・高付加価値材ユーザーの再度の掘り起こし、今まで追い切れていなかった潜在的ユーザーの獲得を目的としたものであります。

東京および大阪の展示会の当社ブースにおいては、特に耐海水性のスーパーステンレス鋼や、低熱膨張材NAS36、ポルカプレートに高い関心が示されました。

今後も当社および高機能材のPRと顧客開拓のため、国内外での展示会への出展を続けていく予定です。



「メタルジャパン」における当社およびナス鋼帯(株)のブース



「メタル大阪」における当社およびナス鋼帯(株)のブース

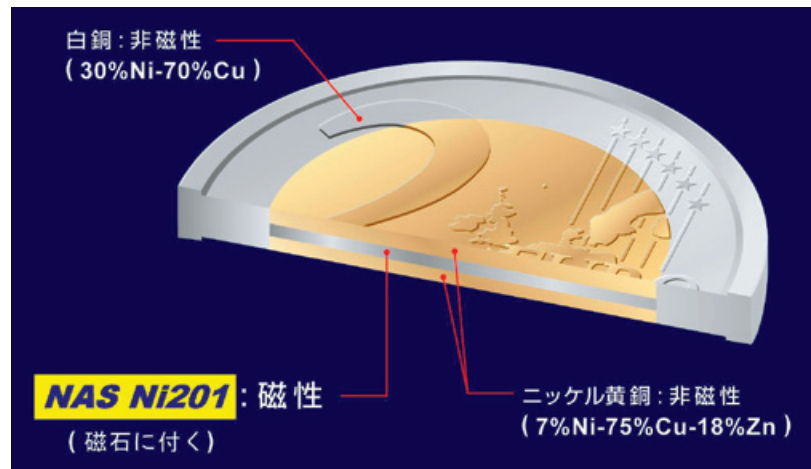
『ユーロ硬貨』

ニッケルは比較的高価なレアメタルの一種であるため、硬貨用の素材の合金成分として古くから用いられています。最近では、ニッケルが磁石に付く性質を利用し、偽造防止のために精密に磁気特性を調整したトリメタル（※）コイン用の材料として、純ニッケルがユーロ硬貨などに使用されるようになりました。

日本冶金工業の純度99.6%以上の純ニッケルNAS Ni201は、2012年以降に発行された各国の1ユーロおよび2ユーロ硬貨の一部に採用されています。

※トリメタル  
中間に別の材質を挟み込んだ構造の3材のメタルから構成されたもの

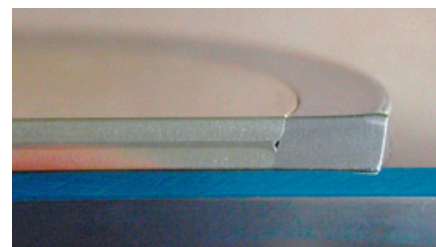
	名称 (JIS規格)	化学成分	
		ニッケル (%)	クロム (%)
純ニッケル	NAS Ni201 (NW2201)	≥99	—
一般材(汎用ステンレス)	NAS304 (SUS304)	8	18



2ユーロ硬貨の構造



2014年発行の1ユーロおよび2ユーロ硬貨と原板



2ユーロ硬貨の原板の断面

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (平日9:00～17:00)
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ ( <a href="http://www.nyk.co.jp/">http://www.nyk.co.jp/</a> ) といたします。 ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

1. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取・買増請求 ・住所、氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定（※）	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (平日9:00～17:00)
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	[お手続き用紙のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 ○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufj.jp/daikou/">http://www.tr.mufj.jp/daikou/</a> いずれも24時間受付

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例分配方式はお選びいただけません。

2. 証券会社等の口座に記録された株式

証券会社等の口座に記録された株式の各種お手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (平日9:00～17:00)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等	お問い合わせください。